

## ERDAS IMAGINE®, LPS 2011, ER Mapper 2011

### ハードウェアとソフトウェアのシステム要件

ERDAS IMAGINE 2011、LPS2011、および、ER Mapper2011の最低限必要な動作要件です。

2011年7月14日改訂

プロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> <li>32-bit: Intel Pentium 4HT、Core Duo、Xeonまたは100% 互換性を有するCPU</li> <li>64-bit: Intel 64 (EM64T)、AMD 64、または100% 互換性を有するCPU</li> <li>マルチコアプロセッサを推奨</li> </ul>
メモリ (RAM)	最低 2 GB、それ 以上を強く推奨 <sup>1</sup>
ハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 GB: 全ソフトウェアのインストール</li> <li>7 GB: 全サンプルデータのインストール</li> <li>必要な空きスペースはプロジェクトにより異なります<sup>2</sup></li> </ul>
OS	<p>ERDAS IMAGINE と LPS 2011</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 7 x32、および x64 Professional &amp; Ultimate以上<sup>3</sup></li> <li>Windows Vista x32、および x64 SP2 以上、Business、Enterprise &amp; Ultimate</li> <li>Windows XP Professional x32<sup>4</sup>、および x64 SP3 以上</li> </ul> <p><b>ERDAS IMAGINE 2011</b> (上記に加えて以下をサポート)<sup>5</sup></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2008 x32、および x64 SP2 以上</li> </ul>
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>OpenGL 1.1 以上が必要:IMAGINE VirtualGIS®、ImageDrape、LPS Terrain Editor、LPS Stereo Point Measurement、Stereo Analyst™ for ERDAS IMAGINE. 対応するグラフィックカード<sup>6</sup>用に Microsoft Windows はOpenGL driver を提供</li> <li>Adobe Acrobat Reader 7 以上</li> <li>JavaScript 機能付 Internet Explorer 7、またはそれ以上、あるいは</li> <li>JavaScript 機能付 Firefox 3、またはそれ以上</li> <li>ERDAS Foundation と同時に Java Runtime 1.6.0.20 がインストールされます</li> <li>Microsoft DirectX 9c、またはそれ以上</li> </ul>
ディスプレイ	<p>2D(通常表示)、遠近法(3次元空間を平面で表示)、アナグリフ向けのグラフィックカードおよび ディスプレイ:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分解能は1280 X 1024 X 32 以上を推奨</li> <li>128MB以上のオンボードビデオメモリを強く推奨</li> <li>最新のグラフィックカードを推奨</li> </ul> <p>ステレオディスプレイ・グラフィックカード<sup>7</sup>:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NVIDIA Quadro 6000, 5000, 4000, 2000, 600</li> <li>NVIDIA Quadro FX 5500, 5600, 5800</li> <li>NVIDIA Quadro FX 4500, 4600, 4800</li> <li>NVIDIA Quadro FX 3400/4400,3450, 3500, 3800</li> <li>AMD ATI FirePro V8800, V8750, V8700</li> <li>AMD ATI FireGL V8600</li> </ul> <p>ステレオディスプレイ・モニター:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Planar SD 3D/ステレオディスプレイ</li> <li>Planar SA2311W 3D Vision Ready Monitor<sup>7</sup>(NVIDIA 3D Visionとセットで使用)</li> <li>NVIDIA GeoForce 3D Vision Kit<sup>8</sup>に対応した 120 Hz LCD モニター</li> <li>True3Di ステレオ・モニター(19" はテスト済)</li> <li>RealD (旧名ステレオグラフィック) CrystalEyes</li> <li>RealD Monitor ZScreen</li> </ul>

<p>周辺機器</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ソフトインストール用DVDドライブ</li> <li>● Microsoft Windows 互換マウス(スクロール・ホイール付)</li> <li>● Microsoft Windows をサポートする印刷機器<sup>9</sup></li> </ul> <p>ライセンス管理上、次のうちの1つが必須:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● TCP/IP 対応イーサネットカード、または</li> <li>● ハードウェアキー用USB ポートx1、または</li> <li>● ハードウェアキー用標準 (DB25) パラレルポートx1</li> </ul> <p>以下のハンドコントローラでより効率的なデータ収集が可能<sup>10</sup>:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Topomouse™、または Topomouse USB™</li> <li>● Immersion 3D Mouse</li> <li>● Mouse-Trak</li> <li>● Stealth 3D (Immersion)、S3D-Eタイプ、シリアルポート</li> <li>● Stealth Z、S2-Zタイプ、USB 対応</li> <li>● Stealth V、S3-V タイプ(シリアルデバイス)</li> <li>● 3Dconnexion SpaceExplorer Mouse<sup>11</sup></li> <li>● EK2000 II Hand Wheels</li> <li>● EMSEN Hand Wheels</li> </ul>
<p>ArcGIS との互換性</p>	<p>ERDAS IMAGINE と LPS 2011 は ArcGIS 9.3.1 または 10 と同じコンピュータにインストールすることができます。</p> <p>ERDAS IMAGINE、LPS 2011 は、共にPersonal File Geodatabase(それぞれ.mdb と.gdbのファイル拡張子)と相互にやりとりすることができます。</p> <p>ERDAS IMAGINE、LPS 2011 は、共にArcGIS Server 10 Geodatabase(ArcSDE)と相互にやりとりすることができます。</p> <p>Geodatabase のデータ読み込みや相互のやりとりを行うためには:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切なArcGIS versions 10 のインストール、または</li> <li>● IMAGINE Geodatabase Support のインストール( ArcEngine 10に基づく。別途ArcGIS のライセンスは不要)</li> </ul>

1. 4GB以下のメモリのシステムはハードディスクへのメモリページングのため著しくパフォーマンスが落ちます。ページングファイル(スワップファイル)は少なくともメモリの1.5倍に設定してください。お客様の端末OSのシステム要件をご参照ください。
2. 一般的にディスク I/O はデータ処理速度に影響しますので、高速処理を行うハードディスクを使えば作業効率が上がります。一つのディスクからデータを読み込み、2つ目のディスクに一時データを書き込み、3つ目のディスクにデータを書き込むという構成の場合、パフォーマンスが向上します。ディスク・アレイで性能は向上しますが、特定のRAID では速度が遅くなる場合もあります。ネットワークディスクドライブはネットワーク制限に依存します。
3. マイナーリリースである11.0.3の適用によりWindows7 SP1に対応します。
4. Microsoft Windows XP x32 ではファイルサイズに制限があります。システム構成にもよりますが、最大70GB程度です。他のOS ではそのような制限はありません。
5. ERDAS IMAGINE と LPS の対応OSが異なる場合があるのは、LPS ではステレオ表示の要件を満たしている必要があるためです。
6. Microsoft Windows ではサポートする全てのグラフィックカード用の OpenGL ドライバーを提供していますが、最適化されたグラフィックカードとドライバーの使用をお勧めします。

7. 3Dステレオ表示にはステレオ対応のグラフィックカードが必要です。カードは全てのコンピュータに対応しているわけではありませんので、お手持ちのグラフィックカードが使用するコンピュータに対応していることを必ず確認してください。Planarのモニタを使用する場合、対応するグラフィックカードの2枚装着という構成が可能な端末を準備する必要があります。
8. NVIDIA GeoForce 3D Vision Kit と対応するNVIDIAグラフィックカードが必要となります。
9. HP-RTL ドライバーを推奨します。Windows x64 から印刷する場合、プリントサーバには64-bit プリントドライバーが必要です。
10. Stealth S-Mouse(S2-S タイプ)とMouse-trakはStereo Analyst for ERDAS IMAGINEに対応するJハンドコントローラです。TopomouseはStereo Analyst for ERDAS IMAGINEでの使用をサポートしていません。
11. 3Dconnexion SpaceExplorer Mouse は LPS 2011 での使用をサポートしています。

#### ご注意

これらの条件は、予告なく変更される場合もあります。

最新の情報につきましては弊社のホームページ (<http://erdas.lgkk.jp>) をご確認ください。